

【解 説】

問1 長時間作用型のオキシコドン塩酸塩徐放性製剤を使用中に突発痛により痛みがとれない場合には短時間作用型のオキシコドン速放性製剤を速やかに投与する。速放性製剤は血中から速やかに消失するため追加投与による副作用発現の危険性は低い。

問2 a：麻薬小売業者の免許を有さない薬局は、麻薬処方せんによる調剤をすることができない。b：麻薬処方せんの記載事項の一つである患者の住所は、麻薬診療施設の調剤所で調剤する場合は省略することができるが、薬局で調剤する場合は省略できない。c：塩酸モルヒネ注射液はアンプルのまま交付することができない。患者に譲り渡すときは注射速度が変更できない、薬液を取り出すことが出来ない構造の注射器とする。d：未使用の麻薬は都道府県職員の立会の下で廃棄しなければならない。

